



質問 1 – 我々はどこにいるのか

パリ協定および 1.5°C/2°C 目標の達成に向けて、これまでに実施した気候変動対策やその成果について記述してください。

LIXIL は環境に配慮した事業活動を続けるため、環境方針を定め、各拠点の ISO14001 取得とそれに伴う省エネ活動、節水・高断熱製品の開発・普及を進めてきました。原材料調達において地球環境保全を調達先選択の要件に盛り込む取り組みや輸送効率の改善・モーダルシフトなど、サプライチェーン全体を通して、環境負荷低減に努めてきました。また、2008 年「エコ・ファースト制度」発足時にいち早く「エコ・ファースト企業」として環境省から認定を受けています。

2015 年に地球温暖化対策のために、今世紀末までに温室効果ガス的人為的な排出と生態系の吸収をバランスさせるという長期目標がパリ協定で示されました。このゼロ・バランスされた社会の実現に貢献すべく、2016 年 3 月に「LIXIL グループ環境ビジョン 2030」を制定しました。

2030 年までに、技術革新による高断熱・省エネ・節水といった「製品・サービスによる環境貢献」が、原材料調達から製造、製品の使用と廃棄などサプライチェーン全体の「事業活動による環境負荷」を超える「環境負荷ネットゼロ(±ゼロ)」の実現を目指します。

ビジョン策定後、下記の環境負荷削減・環境貢献拡大の取り組みを進めてきました。

- ・ グループ EHS（環境・労働安全）委員会を発足し、事業横断的なコミュニケーションを推進、世界 100 拠点以上ある生産拠点の環境マネジメント体制を強化
- ・ マーケティング部との協働により、2017 年に日常の生活の中で気軽に環境貢献に取り組む方法を伝え、エンドユーザーと共に環境について考えるきっかけとなる「みんなでスマイルエコプロジェクト」を開始し、LIXIL の環境配慮型製品・サービスを普及促進
- ・ 東京電力エナジーパートナー株式会社との合弁会社 LIXIL TEPCO スマートパートナーズを設立、製品の断熱性体験型ショールーム「住まい studio」オープン、コントラクター向け「ZEH 設計サポート」など ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の普及を推進
- ・ 企業の枠を超えた協働関係を構築するため、日本気候リーダーズパートナーシップ（JCLP）、気候変動イニシアチブ（JCI）などに参画
- ・ 2017 年 11 月、建材セクターで初めて Science Based Target の認証を取得
- ・ 環境主省催の COOL CHOICE に賛同し、2017 年 12 月には LIXIL リフォーム建材「リプラス」が環境大臣賞を受賞。壁を壊さずに既存の窓を最短 60 分で新しい窓に交換でき、今までの窓リフォームに対する市場の認識を変え、断熱性の高い窓へのリフォームを普及促進につながると高評価
- ・ 沸騰したお湯を水栓から直接かつ安全に利用でき、さらに省エネ性能に優れた「GROHE Red」と、漏水を直ちに検知して自動的に閉栓、モバイルアプリからもトラブルを未然に防ぐことができる「GROHE Sense Guard」が、革新的かつ持続可能な社会をつくる製品であるとして、Green Products 2018 を受賞



質問 2 – どこへ行きたいのか

パリ協定および 1.5°C/2°C 目標の達成における中長期のビジョンや目標について記述してください。

世界の最終エネルギー消費の約 32%は、LIXIL の事業領域である建物（住宅 24%・商業ビル等 8%）で使われており、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の普及は非常に重要です。日本政府は、家庭でのエネルギー消費量を削減するため、住宅については、2020 年までに標準的な新築住宅で、2030 年までに新築住宅の平均で ZEH の実現を目指すという政策目標を設定しています。しかし 2017 年 3 月期時点の割合ではまだ 4.3%程度と、普及が進んでいないのが実情です。

LIXIL はリビングテクノロジー企業として、省エネ・創エネ・高断熱などの技術革新による製品・サービスを通じて、ZEH や ZEB の普及に貢献していきます。

2016 年 3 月に策定した「LIXIL グループ環境ビジョン 2030」をめざし、環境配慮型製品・サービスの開発、普及促進を図るとともに、事業活動による環境負荷の削減を進めていきます。2017 年には SBT の認証を受け、2030 年までに Scope1,2 を 30%、Scope3 の製品使用を 15%削減することを目指しています。

質問 3 – どうやって行くのか

パリ協定および 1.5°C/2°C 目標の達成のための取り組みのなかで、これまでに得られた具体的な解決策や経験、さらに今後実現したいアイデアについて記述してください。

パリ協定の目指す持続可能な社会の実現のため、LIXIL グループは、気候変動などの社会課題による機会とリスクを特定し、事業戦略と一致した環境戦略を推進していきます。建物における省エネ性能の向上や ZEH・ZEB 化の普及に貢献する製品・サービスを提供することで事業機会の創出につながります。また、調達から生産、流通、製品の使用・廃棄やサービスの利用に至るまで、様々なプロセスにおける気候変動リスクを低減するため、水、エネルギー、およびその他の天然資源の保全に努めます。「LIXIL グループ環境ビジョン 2030」を達成するためのロードマップとして中期目標を定め、2020 年までに環境負荷 8%削減、環境貢献 1.36 倍を目指しています。

目標達成に向け、LIXIL では以下の活動を進め、環境負荷削減・環境貢献拡大を目指します。

- ・ グローバルでの優良事例（ベストプラクティス）の見える化や展開の促進、グループ EHS 委員会を通じたグループ全体のコミュニケーション促進など、環境マネジメントのさらなる強化
- ・ 再生可能エネルギーの利活用を促進
- ・ 製品・サービスの環境性能向上・普及
- ・ LIXIL TEPCO スマートパートナーズ、「住まい studio」など ZEH・ZEB に関する製品・サービスの拡大

